

2013年度 FD開発プロジェクト活動計画

FD開発プロジェクト・リーダー 常盤祐司
情報メディア教育研究センター教授

1 活動目的

教育および学びの質の向上を目的とし、すべての教員が使える教育方法および教育ツールの展開を行う。

2 活動計画

1) 教育方法についての検討と展開

- ARCS モデル, アクティブ・ラーニングなどの確立されている教育方法を学内に展開するための検討を行い, 兼任教員を含む全ての教員に対して周知を行う。またプロジェクトメンバーが担当する授業にてそれらの手法を適用して知見を得, それらの手法を授業で活用するための教員向けガイドを作成する。
- Flipped Learning などの革新的な教育手法は学内での展開についてプロジェクトにて検討し, そこでまとめられた提案を Web サイトなどで公開する。

2) 教育ツール活用についての検討と展開

- eポートフォリオなど IT を活用した教育支援ツールを用いた教育を実践し, そこで得られた知見をシンポジウムなどで報告するとともに学内への展開をはかる。
- ラーニング・コモンズおよび GBC (ガラス箱オフィスアワーセンター) などの設備を活用した教育方法について調査・検討を行い, その結果としてまとめられた提案を Web サイトなどで公開する。

3) 2012年度からの継続案件の完了

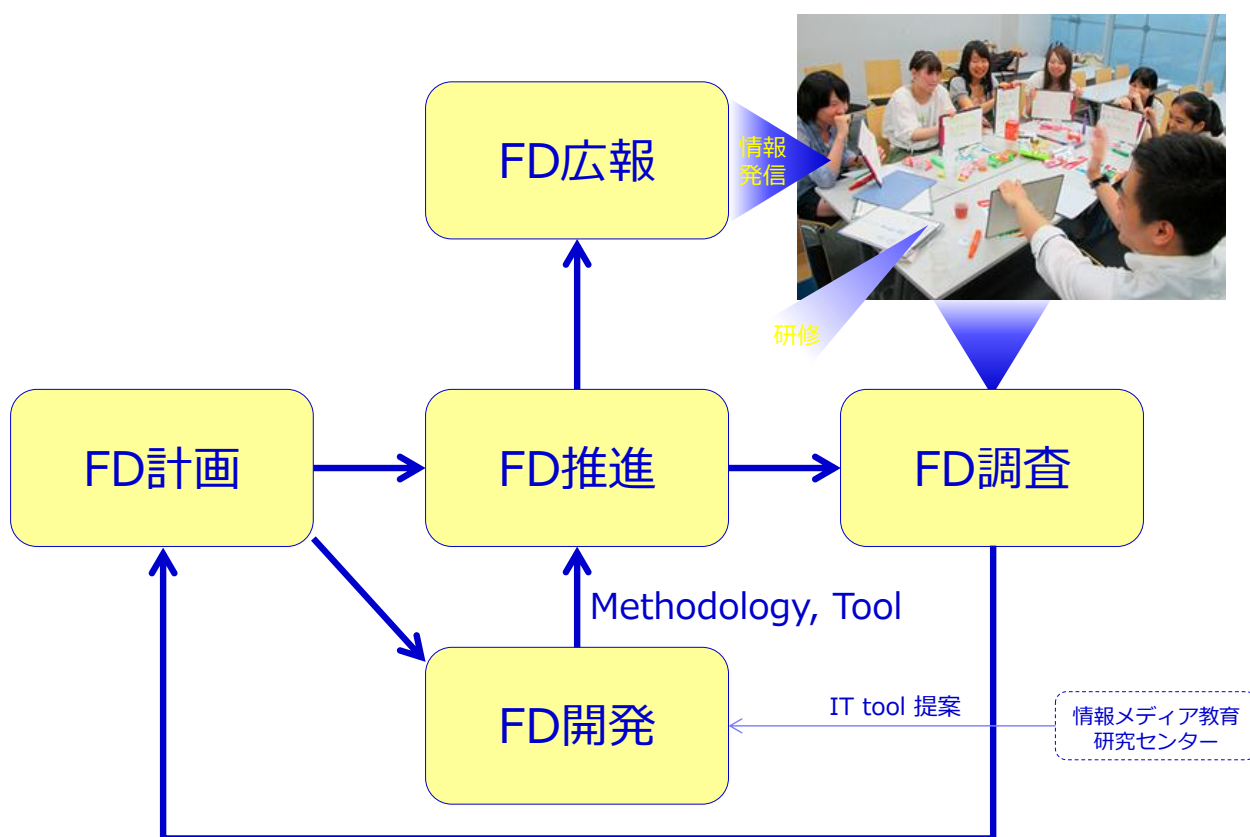
- 授業改善チェックリストを完成する。
- 「キャリアデザイン学入門」および「建築学科成果報告会」にて収録したビデオを編集し Web にて公開する。
- クラウドサービス, モバイル等の ICT 技術の効果的な活用方法について事例の収集と学内への情報提供を行う。

以上

添付資料

FD 開発プロジェクトの位置づけを以下のように想定して活動計画を検討いたしましたので、参考資料として添付させていただきます。

法政大学 FD
教育及び学びの質の向上を目的とした教員・職員・学生による
組織的・継続的な取り組み



以上